

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 (製品名)	Nano Penetrating Lubricant		
会社名	Nano ProMT LLC		
住所	7427 Matthews-Mint Hill Road, Suite 201 Charlotte, NC 28227		
担当者 (作成者)	Chris Hunter		
電話番号	情報なし		
緊急連絡電話番号	(704) 408-3641		
Part No.	NDT11P		
推奨用途及び使用上の制限			
推奨用途	潤滑油	料金コード	3403.19.5000
整理番号	NDT11P		

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	GHS分類基準に該当しない。	
健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分2A
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	区分1
	水生環境有害性(長期間)	区分1

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

眠気又はめまいのおそれ。臓器(神経系)の障害のおそれ。水生生物に非常に強い毒性。水生生物に毒性。長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き

安全対策

子供の手の届かないところに置くこと。使用前にラベルをよく読むこと。加圧容器：使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。ミスト又は蒸気を吸入しないこと。ガスを吸入しないこと。取扱い後はよく洗うこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。環境への放出を避けること。保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルを持っていくこと。皮膚に付着した場合：多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。漏出物を回収すること。

保管

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地域/地方/国/国際規則に従って廃棄すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

その他の情報

混合物の32.86%は急性経口毒性未知の成分である。混合物の58.08%は急性経皮毒性未知の成分である。混合物の79.08%は急性吸入毒性未知の成分である。混合物の56.08%は水生環境に対する急性危険有害性未知の成分である。混合物の56.08%は水生環境に対する長期にわたる危険有害性未知の成分である。

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

重要な兆候

眠気やめまいのおそれ。昏睡。頭痛。吐き気、嘔吐。行為変化 運動機能を弱める。重度の眼刺激。症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがあります。

想定される非常事態の概要

エアゾール 与圧内容物。

与圧容器は熱や炎に暴露すると爆発する恐れがあります。臓器の障害のおそれ。眠気やめまいのおそれ。強い眼刺激。水路に排出されると環境に対して危険である。これはラベルの指示に従って使用すれば消費者にとって安全な、消費者向けケア用品である。多くの消費者製品と同様に、長期にわたるまたは繰り返しの皮膚接触、あるいは眼への接触により発赤、皮疹および/または膨潤を起こす人が少数存在する。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

成分	CAS番号	官報公示整理番号		含有量 (%)
		化審法	安衛法	
アジピン酸ジオクチル	103-23-1	(2)-861, (2)-879	(2)-861, (2)-879	25 - 30
Tripropylene Glycol Monomethyl Ether	25498-49-1	(7)-97	(7)-97	20 - 25
二酸化炭素	124-38-9	(1)-169, (1)-310	(1)-169, (1)-310	<= 5
Bht (butylated Hydroxytoluene)	128-37-0	(3)-540, (9)-1805	(3)-540, (9)-1805	2.0
報告量を下回るその他の成分				45 - 50
化学式	C22-H42-O4 (103-23-1), C10H22O4 (25498-49-1), C-O2 (124-38-9), C15-H24-O (128-37-0)			

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

石けんと水で洗い流す。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。

目に入った場合

直ちに多量の流水で最低15分間目を洗浄する。コンタクトレンズをしていて容易に取り外せる場合は取り外す。その後も洗浄を続けること。目の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

誤嚥した場合は医師に連絡すること。口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

眠気やめまいのおそれ。昏睡。頭痛。吐き気、嘔吐。行為変化 運動機能を弱める。重度の眼刺激。症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがあります。

応急措置をする者の保護

気分がすぐれないときは医療処置についてアドバイスを求める。(可能ならばラベルをみせる) 医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。

医師に対する特別な注意事項

一般的な処置および症状にあわせた適切な治療を施す。被災者の観察を続ける。症状は遅れて出てくることがある。

5. 火災時の措置

消火剤

泡消火剤。粉末。二酸化炭素 (CO2)。

使ってはならない消火剤

消火に水噴射をしない。これは火災を拡散することになる。

火災時の特有の危険有害性

火災の際は健康に有害なガスが生成されることがある。

特有の消火方法

蒸気圧の上昇を回避するため容器を水で冷却しなければならない。

消火を行う者の保護

火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。

一般的な火災の危険性

異常な火災や爆発の危険性は知られていない。

特定の消火方法

通常の消火手順を用いる。影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。こぼれやもれが起きている場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。清掃中は適切な保護具および防護服を着用する。ミスト又は蒸気を吸入しないこと。ガスを吸入しないこと。適切な保護衣を着用せずに、壊れた容器または流出物に触らない。十分な換気を確保する。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。人体の保護具については第8項を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。全ての環境流出に該当する管理または監視要員に通知すること。安全を確認してから、もれやこぼれを止める。下水や水路、地面に排出しない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

より詳細な情報は、SDS（製品安全データシート）を参照下さい。危険でなければ、漏れを止める。漏洩を修復不可能な場合はシリンダーを安全で開放された場所に移す。ガスが分散されるまで、その場所を隔離する。可燃性物質（木材、紙、油など）を流出物から遠ざける。製品を排水施設に流してはならない。バーミキュライト、乾いた砂または土に吸収し、容器に収納する。製品回収後、その付近を水で洗い流す。

少量の漏出：吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。残った汚染を取り去るには、床を徹底的に清掃すること。廃棄物処理については本SDS第13項を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（局所排気、全体換気等）

加圧容器：使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。容器を切削、溶接、はんだ付け、穴開け、研削したり、あるいは熱、炎、火花やその他の発火源に暴露してはならない。物質を移送する時、容器を接地およびアースすること。換気のよい場所でのみ取り扱う。

安全取扱い注意事項

加圧容器：使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。スプレーボタンが失われていたり不良品の場合には使用してはならない。火災や白熱物質に向けてスプレーしてはいけない。スプレーの使用前またはスプレーした表面が完全に乾燥するまでは禁煙。ミスト又は蒸気を吸入しないこと。ガスを吸入しないこと。眼に入らないようにする。長時間の接触を避ける。使用中は飲食や喫煙をしない。取扱い後は手をよく洗うこと。環境への放出を避けること。産業衛生に気を配る。空の容器を再使用しない。本SDS第8項で推奨されている個人用保護具を使用すること。

接触回避

より詳しい情報については第10項を参照。

適切な衛生対策

取扱中は禁煙。本物質を取り扱った後、飲食や喫煙をする前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。汚染物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗う。

保管

安全な保管条件

施錠して保管すること。缶が爆発する可能性があるため熱にさらしたり120°F/49°Cを超える環境下で保管したりしてはならない。穿孔、焼却、圧潰してはならない。裸火、熱またはその他の発火源の近くで取り扱ったり、保管したりしない。長時間の直射日光を避ける。子供の手の届かないように保管すること。混触危険物質（本SDS第10項を参照）から離して保管すること。

安全な容器包装材料

加圧容器：使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。物質を移送する時、容器を接地およびアースすること。容器を切削、溶接、はんだ付け、穴開け、研削したり、あるいは熱、炎、火花やその他の発火源に暴露してはならない。スプレーボタンが失われていたり不良品の場合には使用してはならない。元の容器に密閉して保管する。空の容器を再使用しない。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度（暴露限界値）および管理濃度

日本産業衛生学会 - 許容濃度

成分	タイプ	数値
二酸化炭素 (CAS 124-38-9)	TWA	9000 mg/m3 5000 ppm

ACGIH

成分	タイプ	数値	形状
Bht (butylated Hydroxytoluene) (CAS 128-37-0)	TWA	2 mg/m3	吸引性画分および蒸気。
二酸化炭素 (CAS 124-38-9)	STEL TWA	30000 ppm 5000 ppm	

設備対策

適切な全体換気（換気回数1時間に10回程度）を行わなければならない。換気回数は状況に合わせて。暴露限界値が設定されている場合は、密閉装置、局所排気装置その他の装置により、空気中濃度を暴露限界値以下に保つ。暴露限界値が設定されていない場合も、空気中の濃度を適切な濃度以下に抑える。洗眼設備を設置する。

保護具

呼吸器の保護具

有機蒸気吸収缶付き全面形面体化学用マスク。有機蒸気吸収缶付き全面形面体化学用マスク。

手の保護具

適した耐化学薬品性の手袋を着用しなければならない。

目の保護具

有機蒸気吸収缶付き全面形面体化学用マスク。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観	または 液体.
物質の状態	液体、気体。
形状	エアゾール
色	濃い茶色
臭い	Petroleum
pH	データなし。
融点・凝固点	-67.8 °C (-90.04 °F) 推定値
沸点、初留点と沸騰範囲	242.8 °C (469.04 °F) 推定値
引火点	121.1 °C (250.0 °F) 推定値
燃焼性 (固体、ガス)	該当しない。データなし。
燃焼又は爆発範囲	
燃焼範囲 - 下限 (%)	0.8 % 推定値
燃焼又は爆発範囲 - 上限	8.5 % 推定値
爆発下限界 (%)	データなし。
爆発上限界 (%)	データなし。
蒸気圧	0.01 hPa 推定値
蒸気密度	データなし。
比重 (相対密度)	0.93 推定値
溶解度	
水溶性	データなし。
n-オクタノール / 水分係数	データなし。
自然発火温度 (発火点)	260 °C (500 °F) 推定値
分解温度	データなし。
粘度 (粘性率)	データなし。
その他の情報	
密度	7.80 lbs/gal 推定値
爆発性状	爆発物でない。
フレイム拡張	No Flame Extension
燃焼性(フラッシュバック)	なし
燃焼熱 (NFPA 30B)	0.03 キジュール / グラム 推定値
酸化能力	酸化性でない。
揮発物濃度	0.73 % 推定値

10. 安定性及び反応性

反応性	本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。
化学安定度	通常状態で安定。
危険有害反応可能性	一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。
避けるべき条件	混触危険物質との接触。
混触危険物質	強酸化剤。
危険有害な分解生成物	危険有害な分解生成物は知られていない。

11. 有害性情報

急性毒性	知見なし。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	長時間の皮膚接触により一時的な刺激を起こすことがある。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	強い眼刺激。
呼吸器または皮膚感作性	
呼吸器感作性	呼吸器感作性物質でない。
皮膚感作性	この製品は、皮膚感作を引き起こすとは思われない。

生殖細胞変異原性

本製品あるいは製品中に0.1%以上含有する成分に変異原性または遺伝子毒性があることを示すデータはない。

発がん性

ACGIH発がん性物質

Bht (butylated Hydroxytoluene) (CAS 128-37-0)

A4 ヒトへの発がん性を分類できない。

IARC発がん性評価モノグラフ

Bht (butylated Hydroxytoluene) (CAS 128-37-0)

3 ヒトへの発がん性を分類できない。

アジピン酸ジオクチル (CAS 103-23-1)

3 ヒトへの発がん性を分類できない。

生殖毒性

この製品は、生殖影響または発生影響を引き起こすとは予想されない。

特定標的臓器毒性 (単回暴露)

臓器 (神経系) の障害のおそれ。眠気やめまいのおそれ。

特定標的臓器毒性 (反復暴露)

分類基準に該当しない。

吸引性呼吸器有害性

吸引性呼吸器有害性でない。

12. 環境影響情報

環境影響データ

成分	種	試験結果
Bht (butylated Hydroxytoluene) (CAS 128-37-0)		
水生		
甲殻類	EC50	ミジンコ (ダフニア プレクス) 1.44 mg/l, 48 時間
アジピン酸ジオクチル (CAS 103-23-1)		
水生		
魚類	LC50	ブルーギル (レボミス・マクロキルス) 0.48 - 0.85 mg/l, 96 時間
生態毒性		長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。
残留性/分解性		
生体蓄積性		データなし
土壤中の移動性		本生成物のデータはありません。
オゾン層への有害性		データなし
他の有害影響		その他の環境悪影響 (例、オゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性) は、これらの成分からは期待されません。

13. 廃棄上の注意

適用され規則に準拠して廃棄しなければならない。

残余廃棄物

現地の規定に従い、処分する。空の容器やライナーには製品の残余物が残っている可能性がある。本物質とその容器は安全な方法で廃棄しなければならない (「廃棄上の注意」参照)。

汚染容器及び包装

製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。空の容器を再使用しない。

地域の廃棄規制

廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。内容物は加圧下に置く。穿孔、焼却、圧潰してはならない。本物質を下水 / 水道供給経路に流入させてはならない。薬剤または使用済容器で、池、水路、溝を汚染しないでください。内容物 / 容器を地域 / 地方 / 国 / 国際規則に従って廃棄すること。自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処分量の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票(マニフスト)を添えて、処理を委託する。

14. 輸送上の注意

IATA

UN number	1950
UN proper shipping name	Aerosol, non-flammable
Transport hazard class(es)	
Class	2.2
Subsidiary risk	-
Packing group	Not available.
Environmental hazards	Yes
Special precautions for user	Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.

IMDG

UN number	1950
-----------	------

UN proper shipping name	Aerosols, MARINE POLLUTANT
Transport hazard class(es)	
Class	2.2
Subsidiary risk	-
Packing group	Not available.
Environmental hazards	
Marine pollutant	Yes
EmS	F-D, S-U
Special precautions for user	Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.
MARPOL73/78条約の附属書II及びIBCコードによるバルク輸送	未確定。
一般情報	IMDGに定める海洋汚染物質。
海洋汚染物質	



国内規制

国内輸送については 15 章の規制に従うこと。

15. 適用法令

労働安全衛生法

通知対象物

2,6-ジ-T-ブチル-4-クレゾール 別表第9 政令番号 262 0 - 5.0 %

表示対象物

2,6-ジ-T-ブチル-4-クレゾール 0 - 5.0 %

毒物及び劇物取締法

特定毒物

該当せず。

毒物

該当せず。

劇物

該当せず。

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

第一種特定化学物質

該当せず。

第二種特定化学物質

該当せず。

監視化学物質

該当せず。

優先評価化学物質

2,6-ジ-TERT-ブチル-4-メチルフェノール

届出不要物質

二酸化炭素

化学物質排出把握管理促進法

特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

2,6 - ジ - T - ブチル - 4 - クレゾール 政令番号 207 2.0 % (Bht (butylated Hydroxytoluene))

第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

船舶安全法・危規則

高压ガス

航空法・施行規則

高压ガス

火薬類取締法

該当せず。

高圧ガス保安法

二酸化炭素

不活性ガス

海洋汚染防止法

アジピン酸ジ-ニ-エチルヘキシル

Y類

16. その他の情報

引用文献

ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices

HSDB® - Hazardous Substances Data Bank

IARC発がん性評価モノグラフ

National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens

日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告

日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン、2012年6月

JIS Z 7252 : 2014 GHS に基づく化学品の分類方法

JIS Z 7253 : 2012 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)

本製品安全データシートの内容は、発行時点において、正確を期して記載しております。記載された情報は、安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、排出の手引きとして作成されたものであり、保証または品質の仕様ではありません。この情報は、記載された特定の物質にのみ関連したものであり、そのように明記されていない限りは、この物質が他の物質と一緒に使われた場合やその他の処理には当てはまりません。

改訂情報

化学物質等及び会社情報: 製品確認

危険有害性の要約: 応急措置

GHS: 分類